

令和3年・令和4年の被害者アンケート実施結果

～令和3年・令和4年中の被害者対象(被害者87人のうち調査協力者70人)～

★ うそ電話詐欺に対する意識(70人中70人回答)

・だまされないと考えていた～60人, 約86%

約86%が, だまされないと考えていたと回答。

★ 最初, 犯人(相手)から連絡(電話)があった際の意識(70人中70人回答・複数回答あり)

・全く不審に思わなかった～52人, 約74%

約74%が, 全く不審に思わなかったと回答。

★ うそ電話詐欺に対する被害防止に関する注意喚起を受けたことがあるか(70人中70人回答)

・受けたことがある～59人, 約84%

約84%が, 警察官からの広報紙やチラシ, 戸別訪問による注意喚起をはじめ, テレビ・新聞等による広報で注意喚起を受けており, そのうち約86%は「良く理解できた」と回答している。
注意喚起を受けたことがないとの回答者は, 外出する機会が少なく, 講話を聞く会合等に出席していない傾向にある。

★ 家族等への相談の有無 (70人中65人回答)

・相談なし～47人, 約72%

約90%が家族など相談相手がいると回答しているが, 全体の約72%は未相談で被害に遭っている。
相談していない理由は, だまされていると聞いていなかった, 家族等が近くにいなかった, 家族に心配をかけたくないと考えた, はずかしくて言い出せなかった, 慌てていた, 相手から口止めされていたなどである。

★ 電子マネーについて(18人中18人回答)※電子マネー型の被害者

・電子マネーの仕組みを知っていた～約44%

電子マネーについては, 約56%が利用方法を知らなかった・存在自体を知らなかったと回答。

★ 還付金詐欺等の被害関係者(対象者20人中20人回答, 複数回答あり)

- ・市役所職員や金融機関職員を名乗ったことから, 信じてしまった～18人
- ・保険料・医療費・年金等の還付金が本当にあると思った～17人
- ・保険料・医療費・年金等の還付金がATMで口座に振り込まれると思った～14人

市役所職員等を名乗ったことで相手の言うことを信じている。また, 還付金詐欺の手口だと認識していなかった。

★ 架空料金請求詐欺の被害関係者(対象者34人中32人回答, 複数回答あり)

- ・支払った料金は返金されるという言葉信じた～15人
- ・パソコンの復旧の方法を知らなかった～10人
- ・未納料金があるという言葉信じた～9人
- ・サイトの登録(解除)の料金は支払わないといけなかった～9人

犯行の名目, だまし文句は様々で, それを知らないため被害に遭っている。
特に「支払った料金は返金される」という言葉を信じて被害に遭っている。

★ どんなことに注意しておけば被害に遭わなかったと思うか(70人中67人回答, 複数回答あり)

- ・うそ電話詐欺の手口を知っていれば, 思い止まった～37人
- ・金融機関職員等に声を掛けられていたら思い止まった～15人
- ・送金する際に誰かに声を掛けられていたら思い止まった～11人
- ・送金するときポスターなどが目に入れば, 思い止まった～14人
- ・相談できる人がいれば, 相談して思い止まった～13人

「うそ電話詐欺の手口を知っていれば, 思い止まった」, 「金融機関職員のほか, 送金時に誰かに声を掛けられていたら思い止まった」との回答が多い。

※ うそ電話詐欺撃退装置・優良防犯電話の設置箇所での被害状況～被害の報告なし